

「さうね、又行きましようね、自働車の小父さんにたのんで」翌日の自由畫に、昨日の事を畫かなかつたのは風邪で休んだ明さんだけであつた。

よりよい、二回目の試を計畫しながら。

——十月二十四日記す——

觀察の地方色

——廣く御寄稿を乞ふ——

風あたゝかい南の國から、木枯吹き荒ぶ關東地方を経て、雪に埋れる北海、樺太の果てに到るまで、季節風土の變化の多い我國には、土地々々による觀察の地方色に面白い違ひもあることと思ひます。此の興味ある問題について皆様の御寄稿を頂き誌上を賑はせていただき度いと存じます。貴園でのありのままの實際のが結構で御座います。べ切りは十一月の三十日までとして、どうぞ振つて御寄稿下さい。

(東京市本郷區、女高師附屬幼稚園内『幼兒の教育編輯係宛てに御願いたします。)